

乗合タクシーの現状及び 市南西地域において実施した 意見交換会の結果概要

<目次>

1 乗合タクシーの現状	1
1.1 乗合タクシー導入の経緯	1
1.1.1 乗合タクシー導入前の状況	1
1.1.2 現在の乗合タクシー・バス交通の状況	4
1.2 乗合タクシーの概要	7
1.3 乗合タクシーの登録・利用状況	8
1.3.1 登録者の状況	8
1.3.2 輸送実績・予約実績の集計	10
1.3.3 利用者の状況	11
1.3.4 収支の状況	16
2 市南西地域において実施した意見交換会の結果概要	17
2.1 実施概要	17
2.2 参加者の状況	18
2.3 意見交換会での意見	18
3 現在の乗合タクシーの状況のまとめ	23

1 乗合タクシーの現状

1.1 乗合タクシー導入の経緯

1.1.1 乗合タクシー導入前の状況

乗合タクシーの運行を開始する以前（平成 25 年 3 月末まで）、市南西地域では日中時に市内循環バスの西循環ルートを実行していた。

しかし、以下に示すような理由から、市内循環バスの運行ルートの見直しとあわせて、日中時に市内循環バスの利用ができなくなる市南西地域において、乗合タクシーの実証実験運行を実施することとした。（平成 25 年 4 月 1 日から平成 28 年 3 月末までの 3 年間）

<乗合タクシー導入に至った理由>

◎平成 24 年度の市内循環バスの年間利用者数の実績では、西循環ルートの利用者数は全体うちの 1.9%のみと非常に少ない状況であった。

各路線の利用者数と割合

上北台	108,711	41.7%
玉川上水	108,112	41.5%
武蔵砂川	38,984	15.0%
西循環	4,860	1.9%
合計	260,667	100.0%

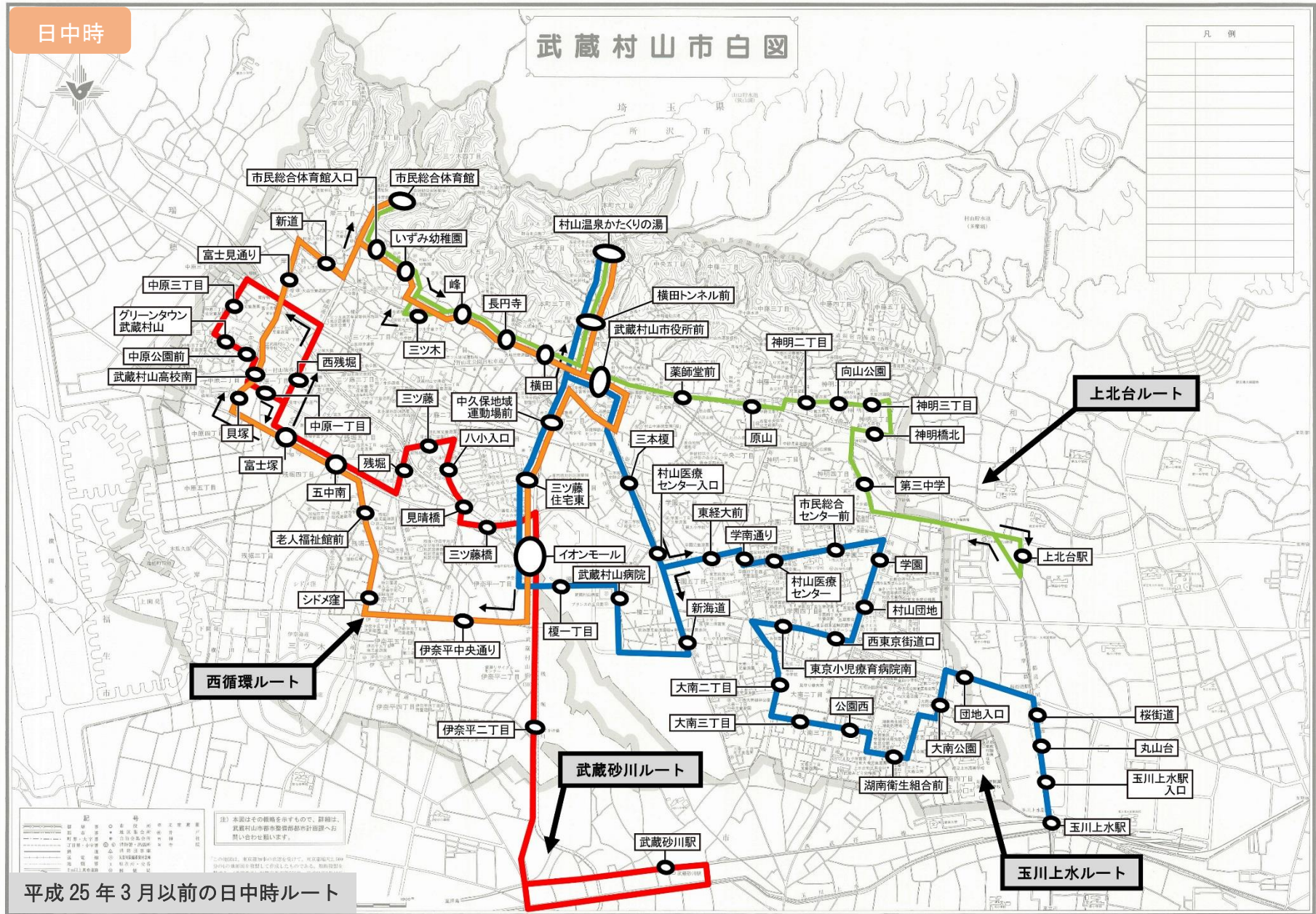
◎市南西地域は、バスルートの設定にあたり、東側は日産工場跡地や工業地域、西側は横田基地、南側は立川市と隣接しているという地理的条件により迂回が大きくなってしまふ。

◎バスが運行可能な幅員を満たす道路が限られており、バス停の設置にも制約がある。

◎対象地域の住民からは、昭島駅や西武立川駅へのMMシャトルの運行要望が多いが、運行可能な道路では既に路線バスが運行しており、路線バスとの競合が生じてしまふ。

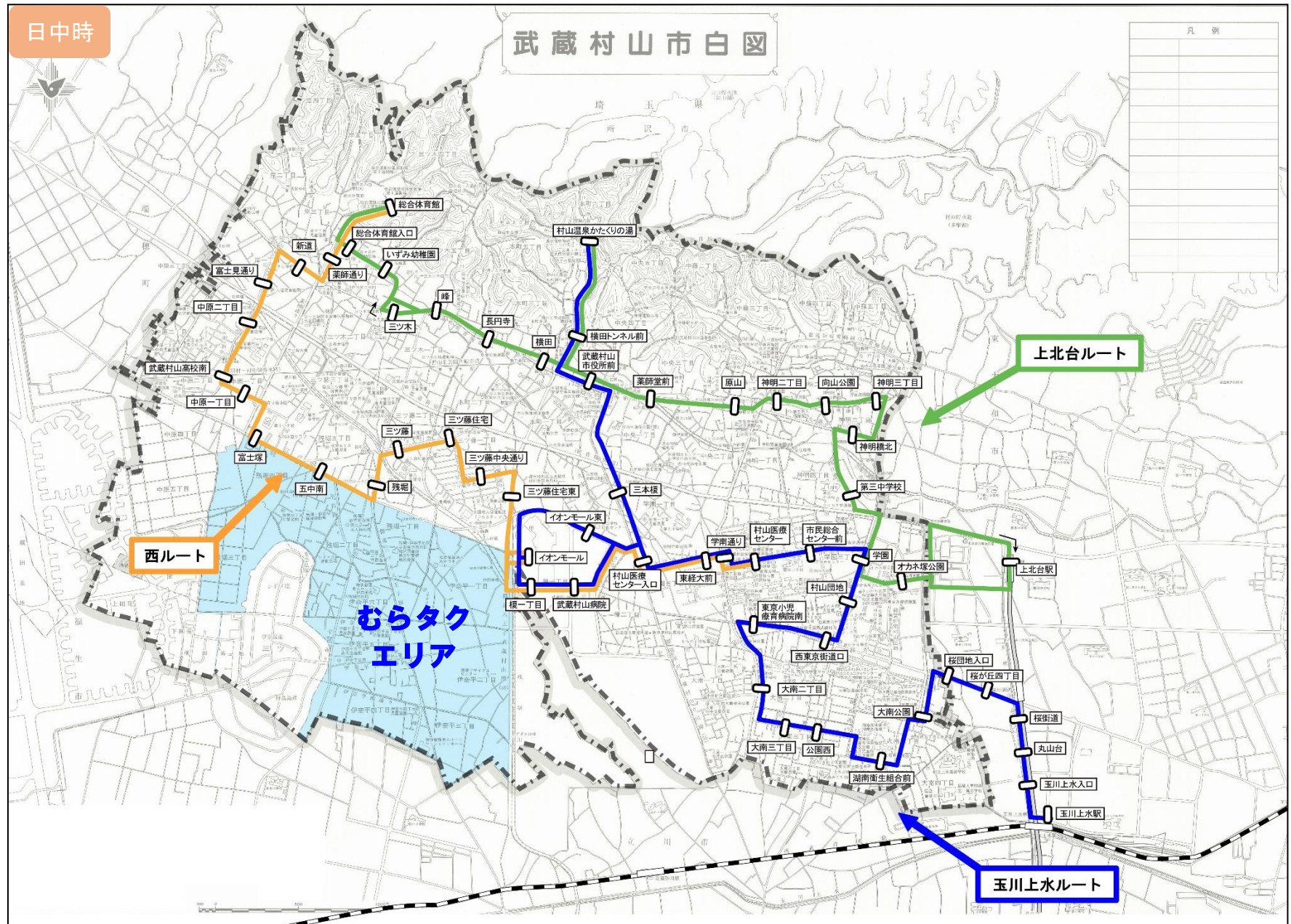
◎MMシャトルの西循環ルートを廃止することにより、市役所等の公共施設へアクセスしにくくなるが、利用者が少なくまとまった移動の需要がないため、バス運行の必要性が低い。

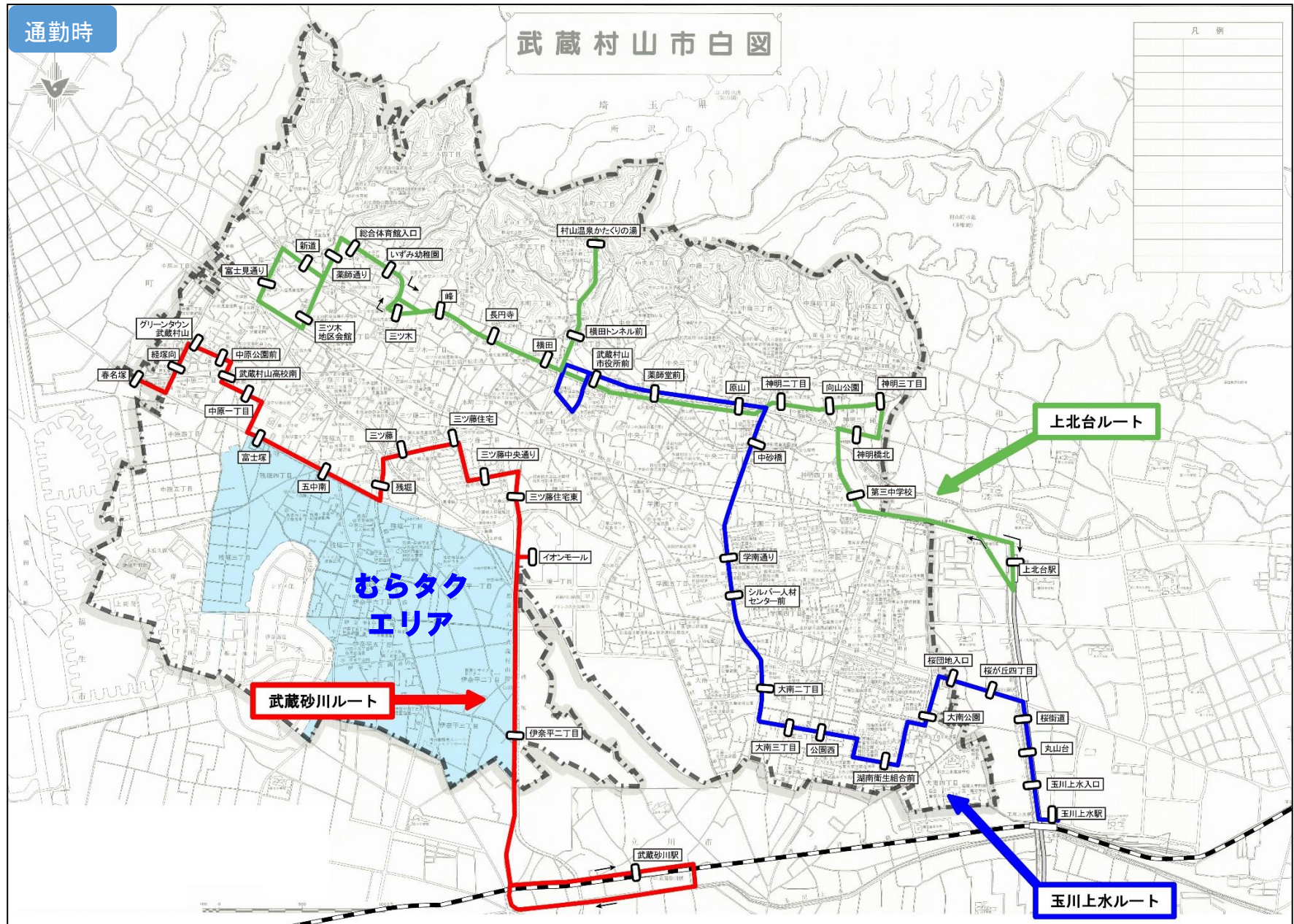
<平成 25 年 3 月以前の市内循環バスのルート>



1.1.2 現在の乗合タクシー・バス交通の状況

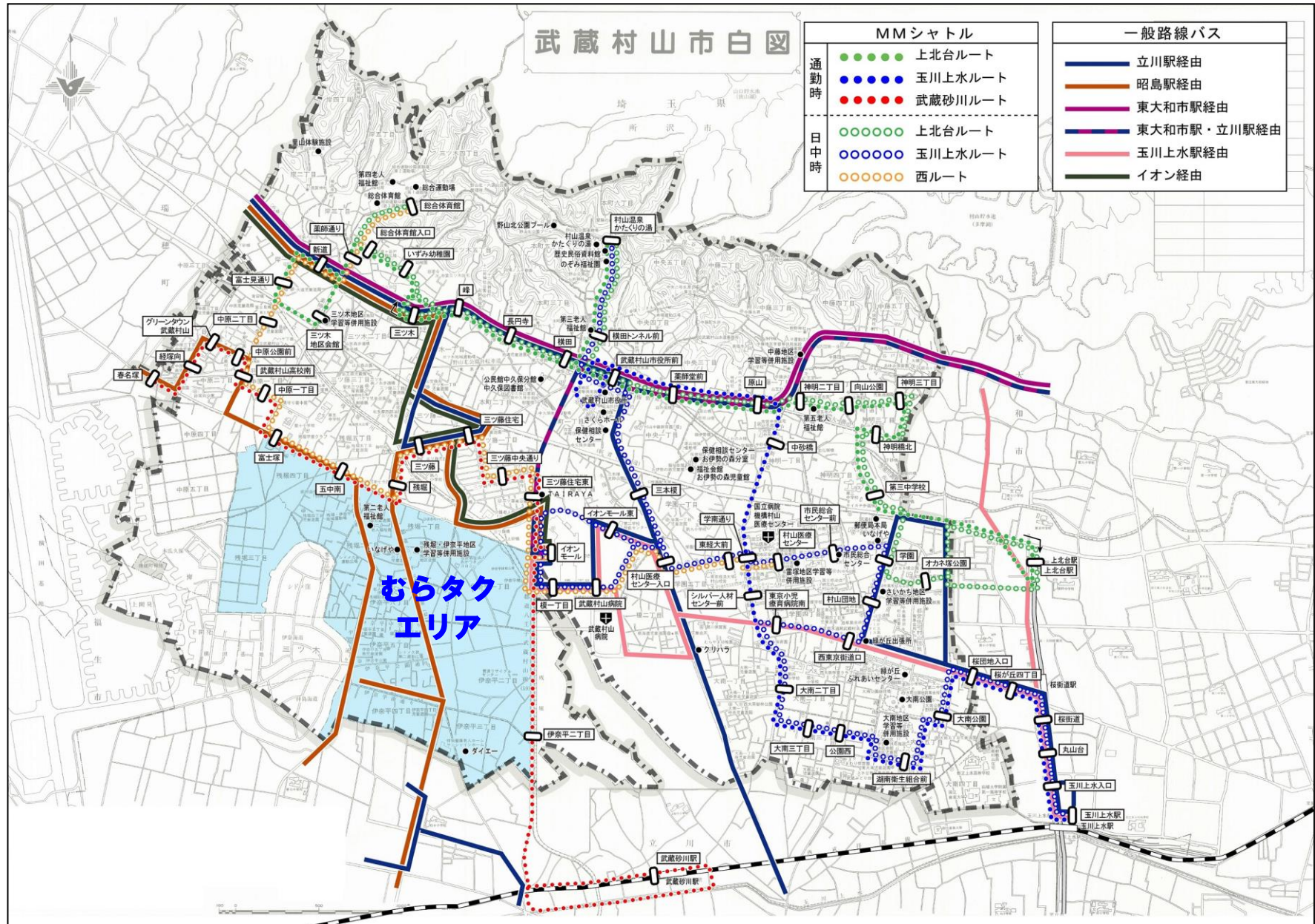
(1) 現在の市内循環バスのルートと乗合タクシーの登録可能エリア





(2) 路線バスの状況

現在の武蔵村山市のバス交通の状況は以下のとおりであり、市南西地域では昭島駅方面への路線バスは運行しているが、武蔵村山市役所などの市内中心部に運行する路線バスはなく、乗合タクシーが地域の足となっている。



1.2 乗合タクシーの概要

電話等で事前に予約し、乗車する乗合型の新しい交通システムとして、市南西の特定の地域の自宅から市内の主な公共公益施設の間を運行する交通サービスとして、平成 25 年 4 月 1 日から実証実験運行を開始している。

(1) 運行日

月曜日～土曜日（日曜日は運休）

(2) 運行時間

午前 8 時～午後 5 時（1 時間に 1 便）

(3) 利用者登録ができる方

以下の市南西地域の居住者が登録可能である。

- ・伊奈平の全域
- ・大字三ツ木（横田基地内）の全域
- ・残堀一丁目の一部（江戸街道以南）
- ・残堀二丁目から四丁目の全域

(4) 運行区間

一般のタクシー運行とは異なり、特に公益性の高い施設への移動手段を確保するため、市南西地域内の自宅から市内公共公益施設（以下の 9 ヶ所）を運行している。

かたくりの湯、総合体育館、武蔵村山郵便局へは、平成 26 年 10 月 1 日から運行することとなった。

- ・武蔵村山市役所
- ・市民総合センター
- ・保健相談センターお伊勢の森分室
- ・交通プラザ（イオンモールバス乗降場所）
- ・武蔵村山病院
- ・村山医療センター
- ・かたくりの湯
- ・総合体育館
- ・武蔵村山郵便局

(5) 利用運賃

- ・1 人 1 回（片道）300 円
- ・シルバーパス、身体障害者手帳、療育手帳（愛の手帳）、精神障害者保健福祉手帳を所持している方、要介護（要支援）認定を受けている方、介助者及び小学生は半額
- ・未就学児は無料

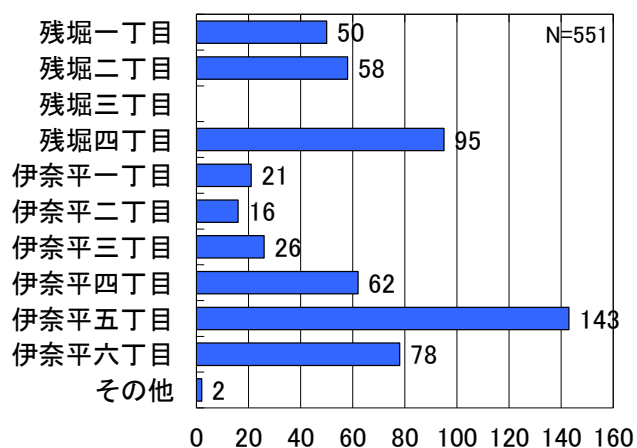
1.3 乗合タクシーの登録・利用状況

乗合タクシーの収支状況及び登録状況、利用状況について示す。

1.3.1 登録者の状況

(1) 登録者の居住地

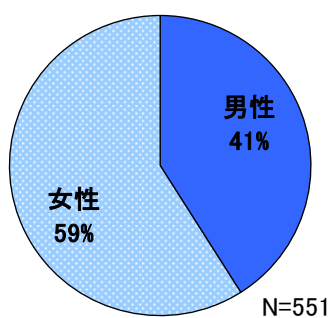
伊奈平五丁目の登録者数が特に多く 100 人を超えている。次いで残堀四丁目、伊奈平六丁目が多い。



(H27.1 時点)

(2) 登録者の性別

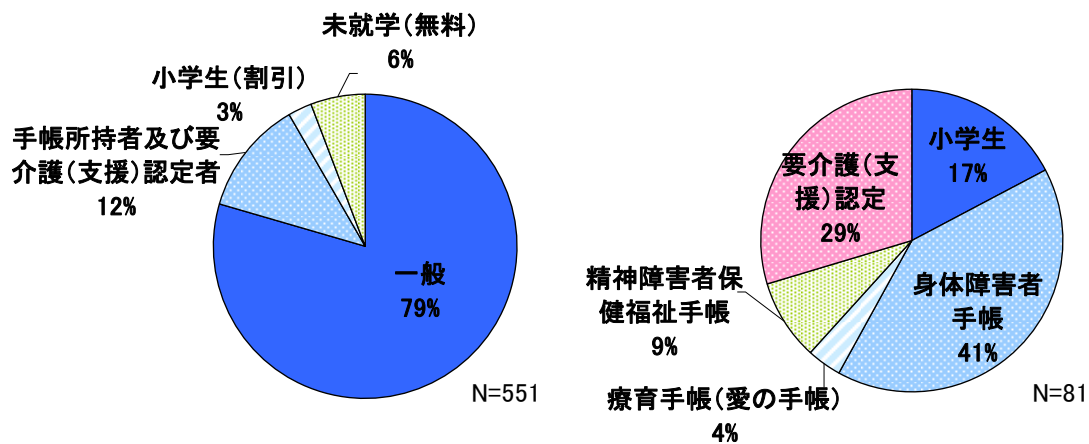
登録者は女性の割合のほうが高く 60%程度である。



(H27.1 時点)

(3) 登録者の種別

登録者の種別をみると、一般登録者が約 80%と多くなっている。次いで手帳所持者及び要介護（支援）認定者が多く、小学生以下の割合は10%に満たない。

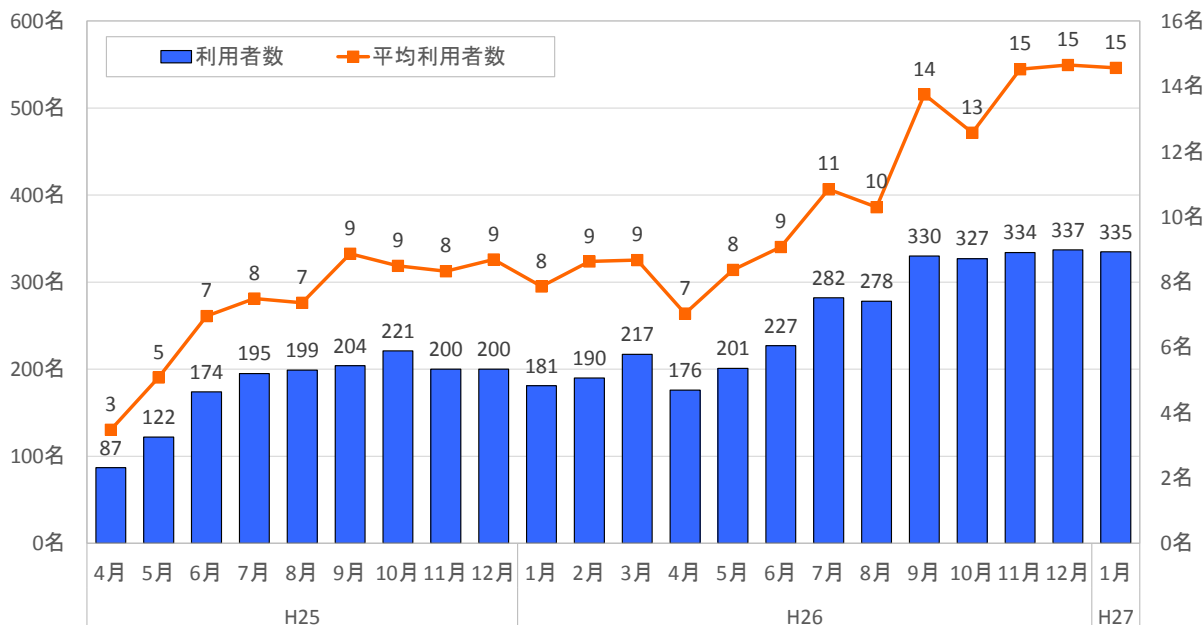


(H27.1時点)

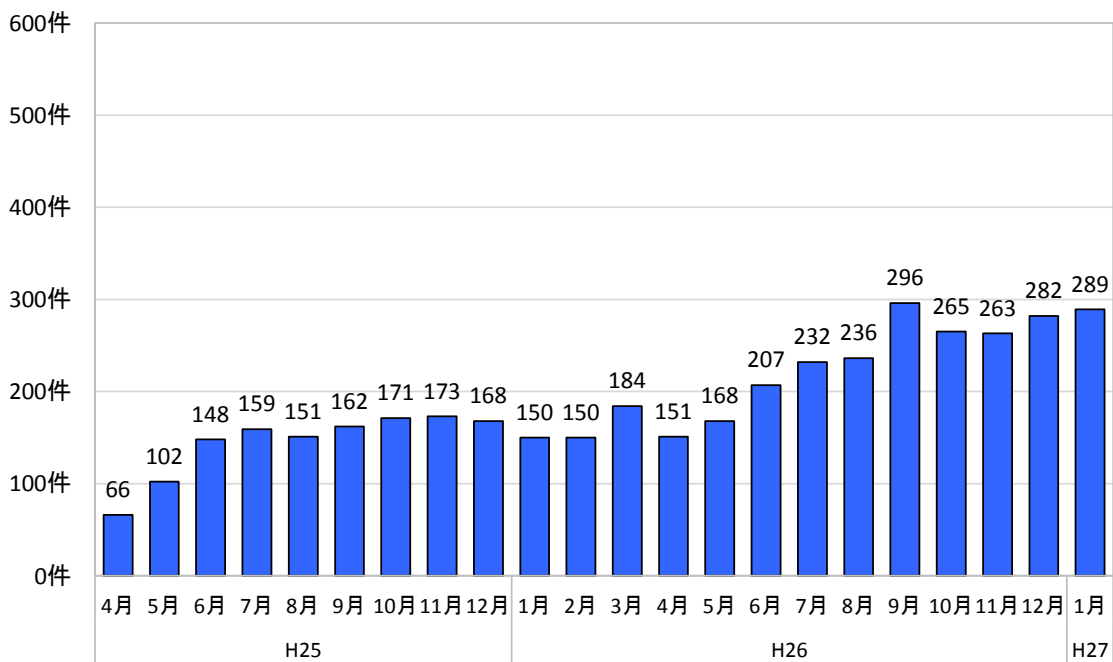
1.3.2 輸送実績・予約実績の集計

利用者数、予約者数ともに増加しており、平成 26 年 7 月には月間利用者数が 250 人を
 超え、1 日あたりの平均利用者数は 10 人を超えている。

月別利用者数の推移



月別予約件数の推移



1.3.3 利用者の状況

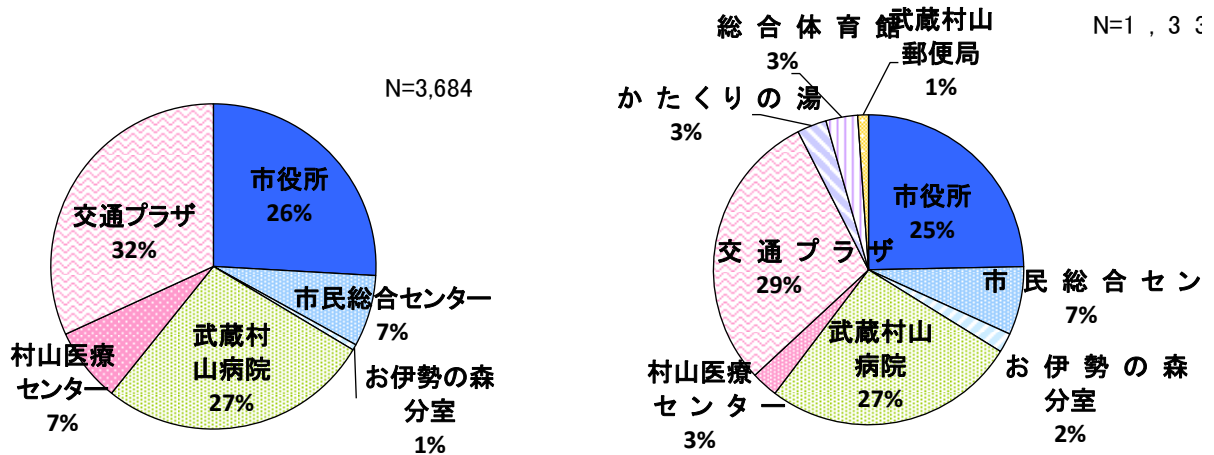
(1) 利用場所

平成26年10月から乗降場所が追加されているが、現時点では利用状況に大きな変化はない。交通プラザの利用が最も多く30%近くを占めており、次いで武蔵村山病院、市役所となっている。

一方、お伊勢の森分室、村山医療センターの利用者は少ない。

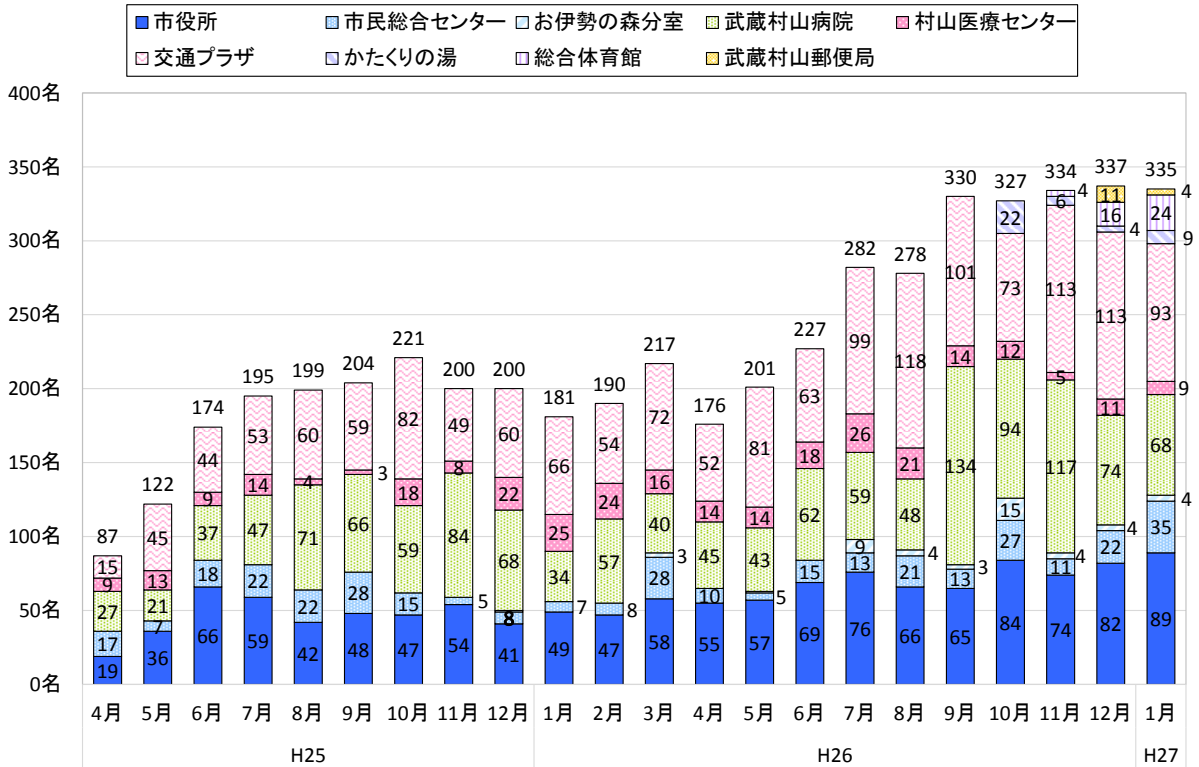
平成25年4月～平成26年9月の累積

平成26年10月～平成27年1月の累積



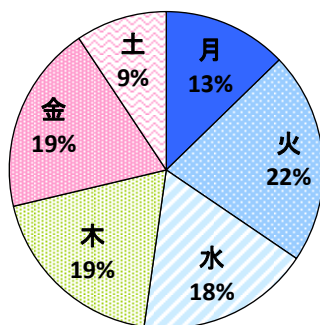
※平成26年10月から、かたくりの湯・総合体育館・武蔵村山郵便局を乗降場所に追加

場所別利用者数の推移



(2) 曜日別利用者数

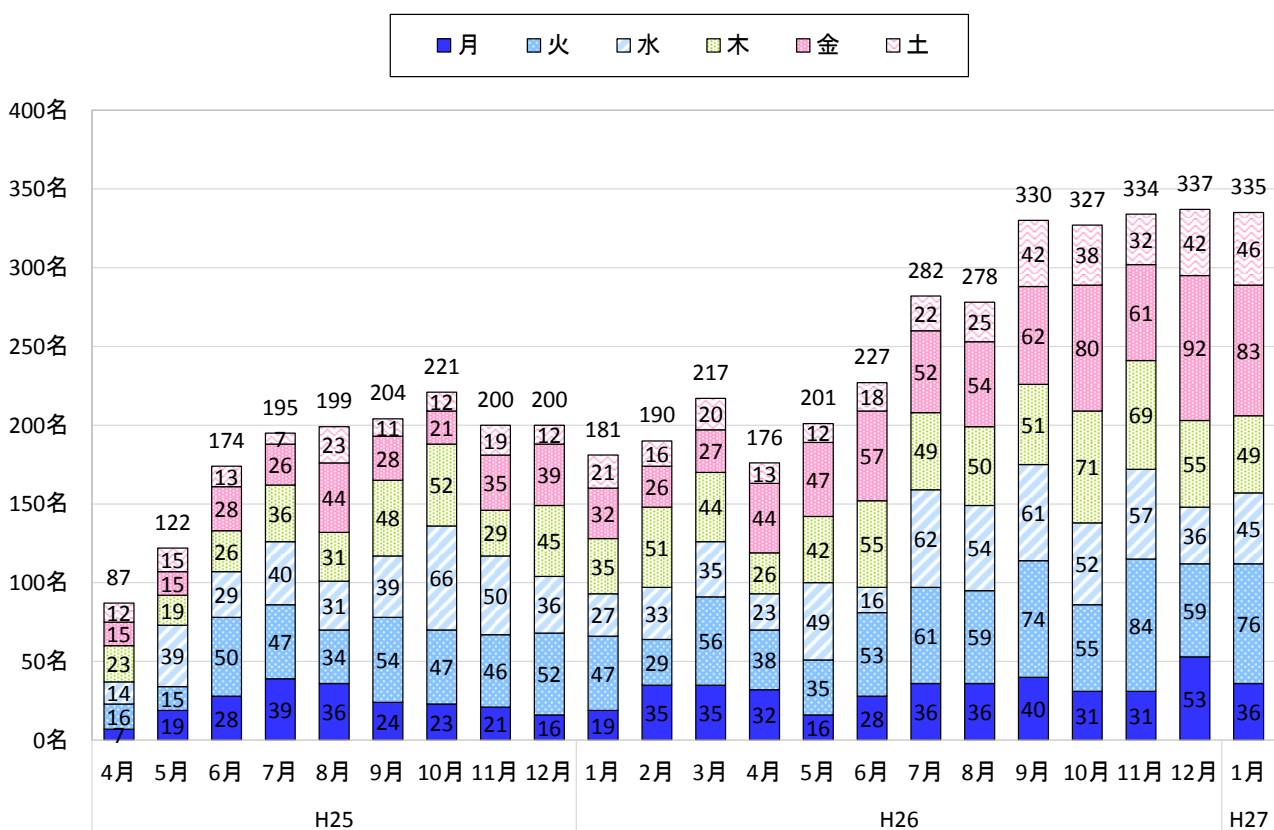
利用している曜日をみると、月曜日から金曜日の平日での利用が多く、土曜日の利用は少ない。



N=5,017

※運行開始から平成 27 年 1 月末までの累積での割合

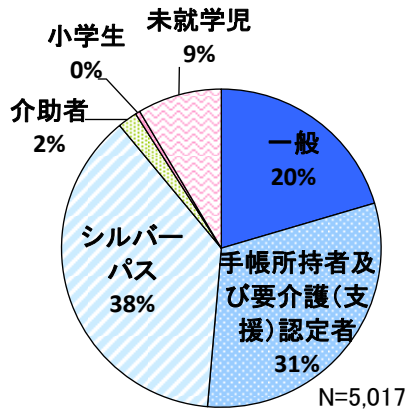
曜日別利用者数の推移



(3) 利用者の属性

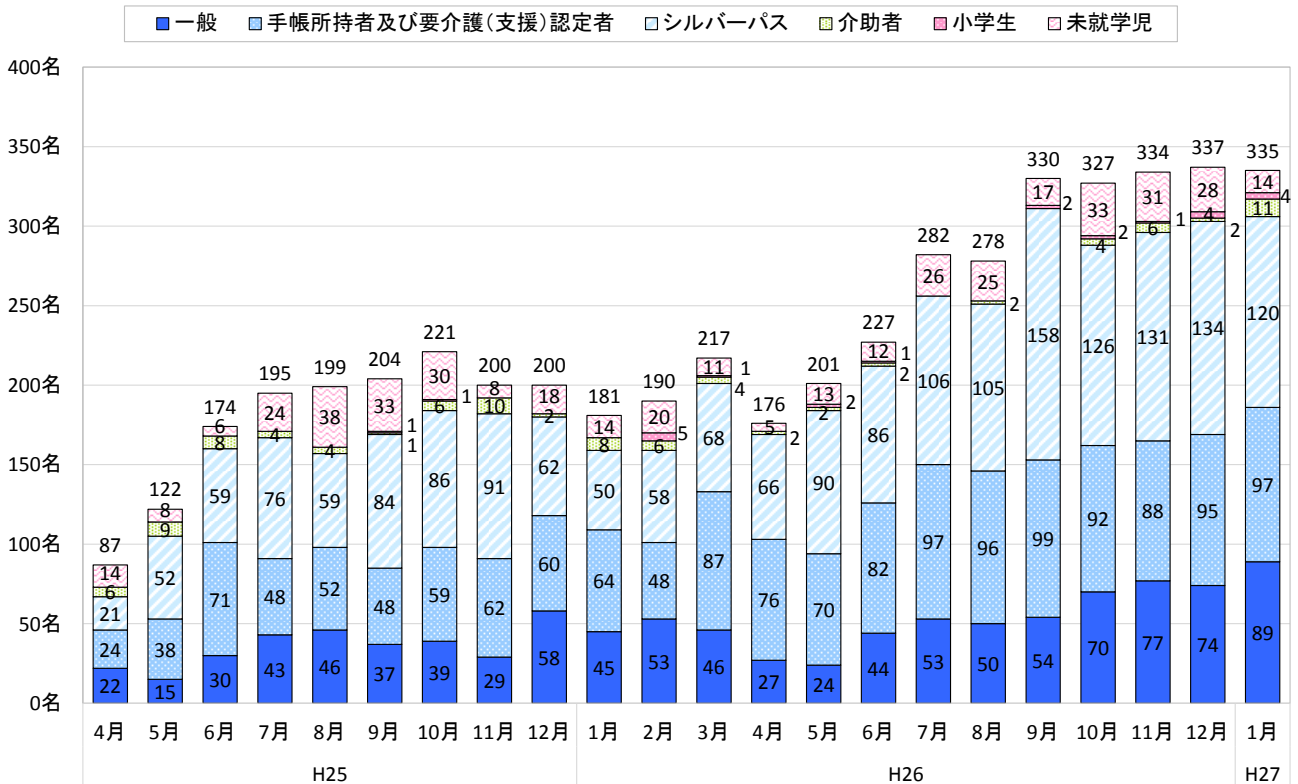
シルバーパス利用者、手帳所持者及び要介護（支援）認定者の利用が多く、これまでの累積ではそれぞれ 38%、31%を占めている。一般登録者は 20%であり、未就学児・小学生などの利用は少ない。

登録者の内訳では、手帳所持者及び要介護（支援）認定者の割合は 12%と低いですが、実際の利用では 30%以上と高くなっている。



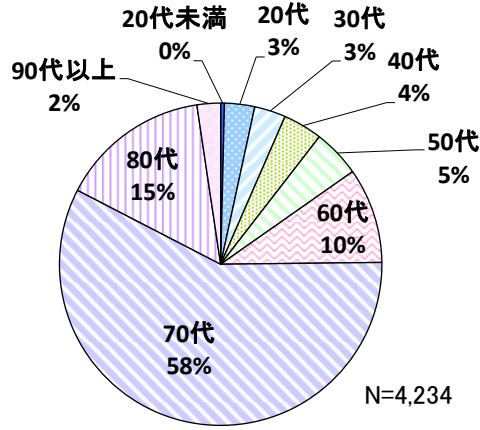
※運行開始から平成 27 年 1 月末までの累積での割合

利用者内訳の推移



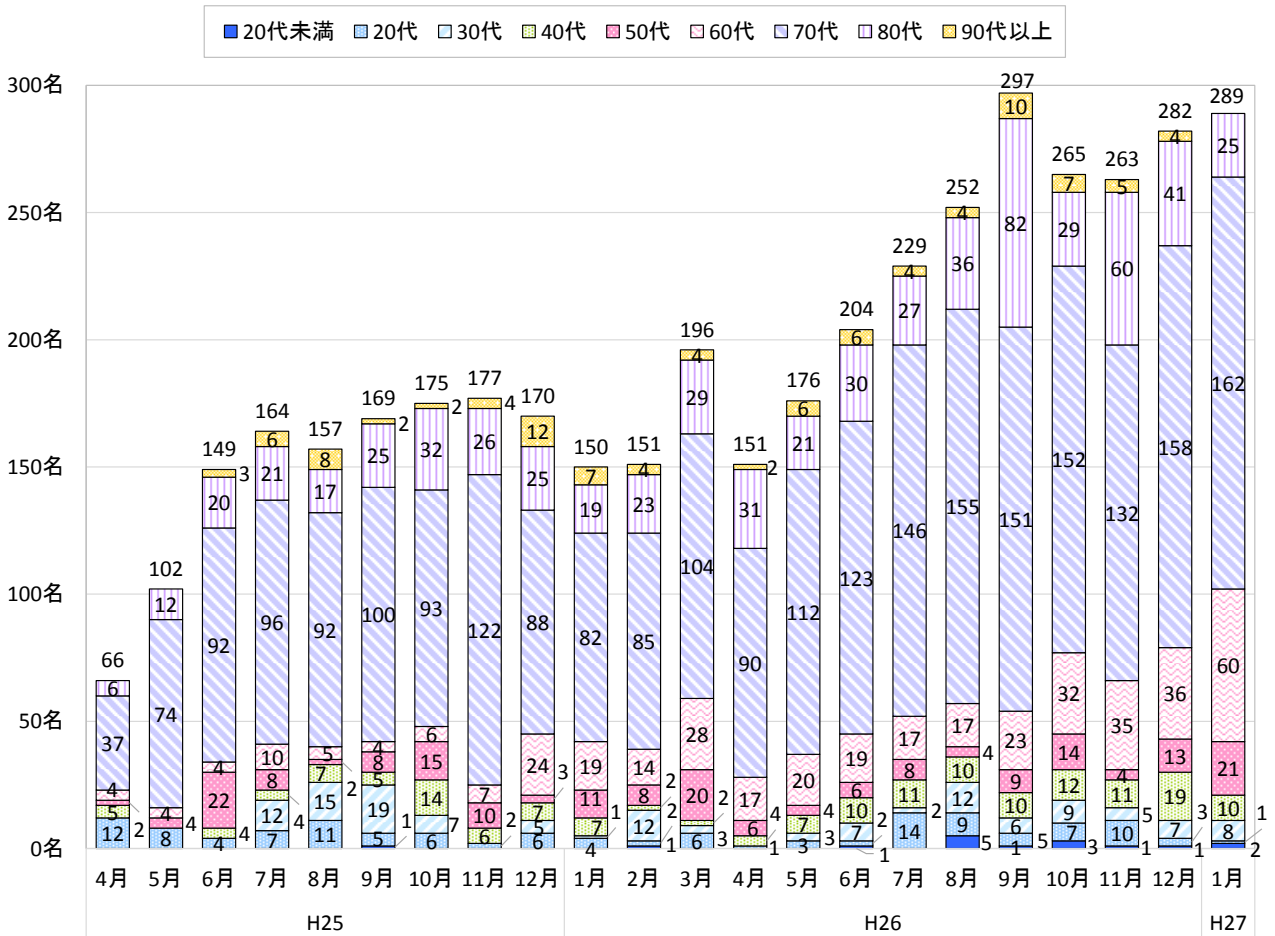
(4) 利用者の年齢

利用者の年齢では、70代以上が約75%、60代以上が約85%を占めている。高齢者の利用が主であり若い世代は少ない。



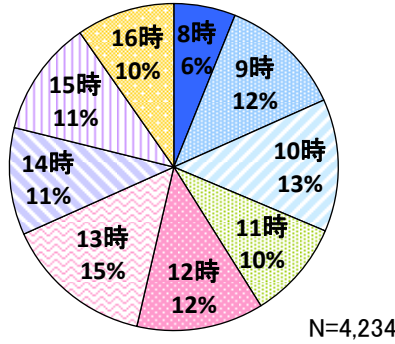
※運行開始から平成27年1月末までの累積での割合

年齢別予約数の推移



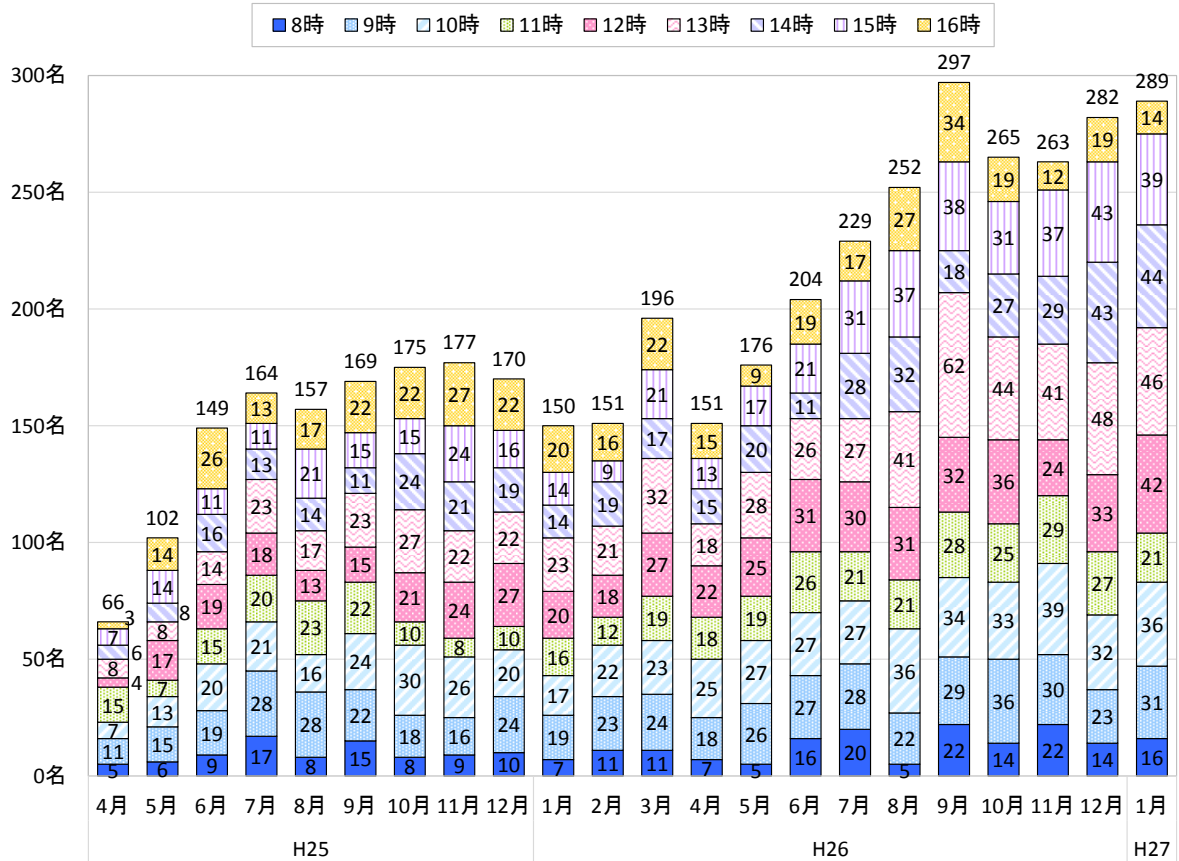
(5) 予約時間帯

予約時間帯は、午前中利用の予約が 40%程度、午後が 60%程度である。8 時台は特に少なく 10%以下となっている。



※運行開始から平成 27 年 1 月末までの累積での割合

時間帯別予約数の推移



1.3.4 収支の状況

乗合タクシーの平成25年度、平成26年度の収支状況は以下のとおりである。

平成26年度は、平成25年度に比べて収支率が5.3%から8.1%に増えているものの、依然、低いレベルに止まっており、一層の需要創出が求められる。

◆初期費用

運行管理システム運用環境等構築委託経費	754,950 円
---------------------	-----------

◆支出(1ヶ月あたり)

平成25年度 1ヶ月あたり	574,245 円
実証実験運行経費	514,500 円
運行管理システム運用経費	59,745 円
平成26年度 1ヶ月あたり	590,652 円
実証実験運行経費	529,200 円
運行管理システム運用経費	61,452 円

◆収入(1ヶ月あたり)

平成25年度 1ヶ月あたり (4月～3月)	30,363 円
平成26年度 1ヶ月あたり (4月～1月)	47,775 円

◆収支率(1ヶ月あたり)

平成25年度	5.3%
平成26年度	8.1%

2 市南西地域において実施した意見交換会の結果概要

2.1 実施概要

(1) 実施日時

以下の日程で意見交換会を実施した。

日 程	時 間	会 場	所在地
2月6日(金)	午前10時～正午	第二老人福祉館 (会議室)	残堀 2-22-1
2月6日(金)	午後7時～午後9時	残堀・伊奈平地区会館 (実習室)	残堀 1-60-3
2月7日(土)	午前10時～正午	伊奈平自治会館 (集会室)	伊奈平 2-55-1

(2) 対象

対象は、残堀・伊奈平地域居住者を主としたが、地域外からの参加も可能とした。

(3) 申し込み

事前予約は不要。

(4) 当日の内容

① 現状説明

むらタクの役割や運行概要、利用状況、市の財政負担等の状況、また残堀・伊奈平地域の公共交通網の現状について説明。

② 意見聴取

①の現状説明を踏まえながら、むらタクの利用状況、改善が必要と思う点、むらタクで行きたい場所、利用者を増やすためのアイデアなどについて、グループに分かれて意見交換を実施。

2.2 参加者の状況

各回の参加者数は以下のとおり。3会場すべての参加者数は、乗合タクシーの運行対象地域から25名、対象外地域から5名の合計30名の方に参加いただいた。

また、会場で新規登録の受付を行い新たに14名（8件）の方に登録いただいた。

<各会場での参加者>

会場：第二老人福祉館

会場：残堀・伊奈平地区会館

会場：伊奈平自治会館

居住地	人数	居住地	人数	居住地	人数
残堀一丁目	2	残堀一丁目	1	伊奈平二丁目	1
残堀二丁目	1	残堀二丁目	1	伊奈平四丁目	4
残堀四丁目	5	伊奈平四丁目	1	伊奈平五丁目	4
残堀五丁目	2	伊奈平五丁目	3	伊奈平六丁目	3
伊奈平六丁目	2	合計	6	合計	12
合計	12				

<全体での参加者>

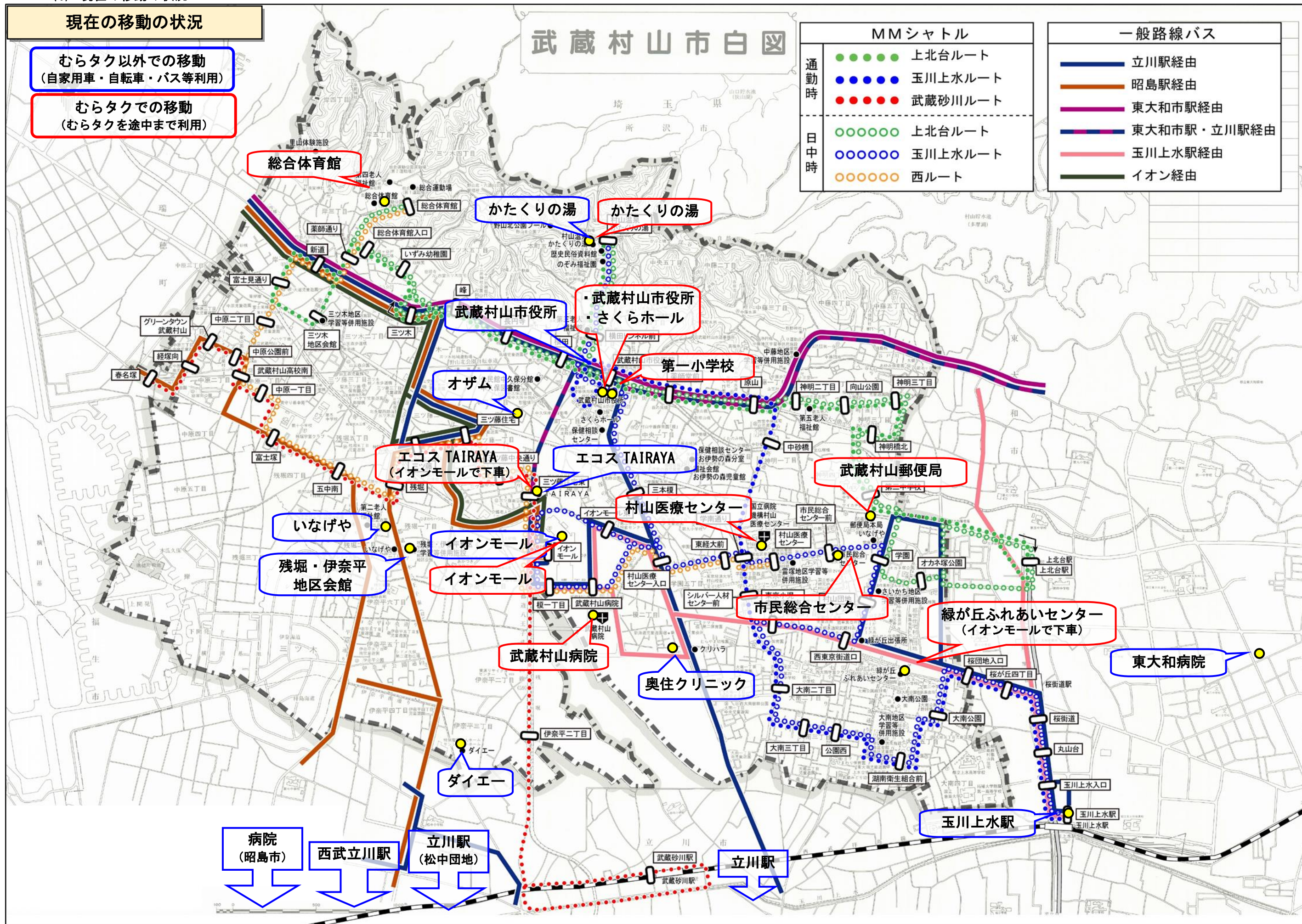
居住地	参加人数	新規登録者
残堀一丁目	3	対象区域外
残堀二丁目	2	2名（1件）
残堀三丁目	0	0
残堀四丁目	5	0
残堀五丁目	2	対象区域外
残堀地域 計	12	2名（1件）
伊奈平一丁目	0	0
伊奈平二丁目	1	0
伊奈平三丁目	0	0
伊奈平四丁目	5	0
伊奈平五丁目	7	8名（4件）
伊奈平六丁目	5	4名（3件）
伊奈平地域 計	18	12名（7件）
合計	30	14名（8件）

2.3 意見交換会での意見

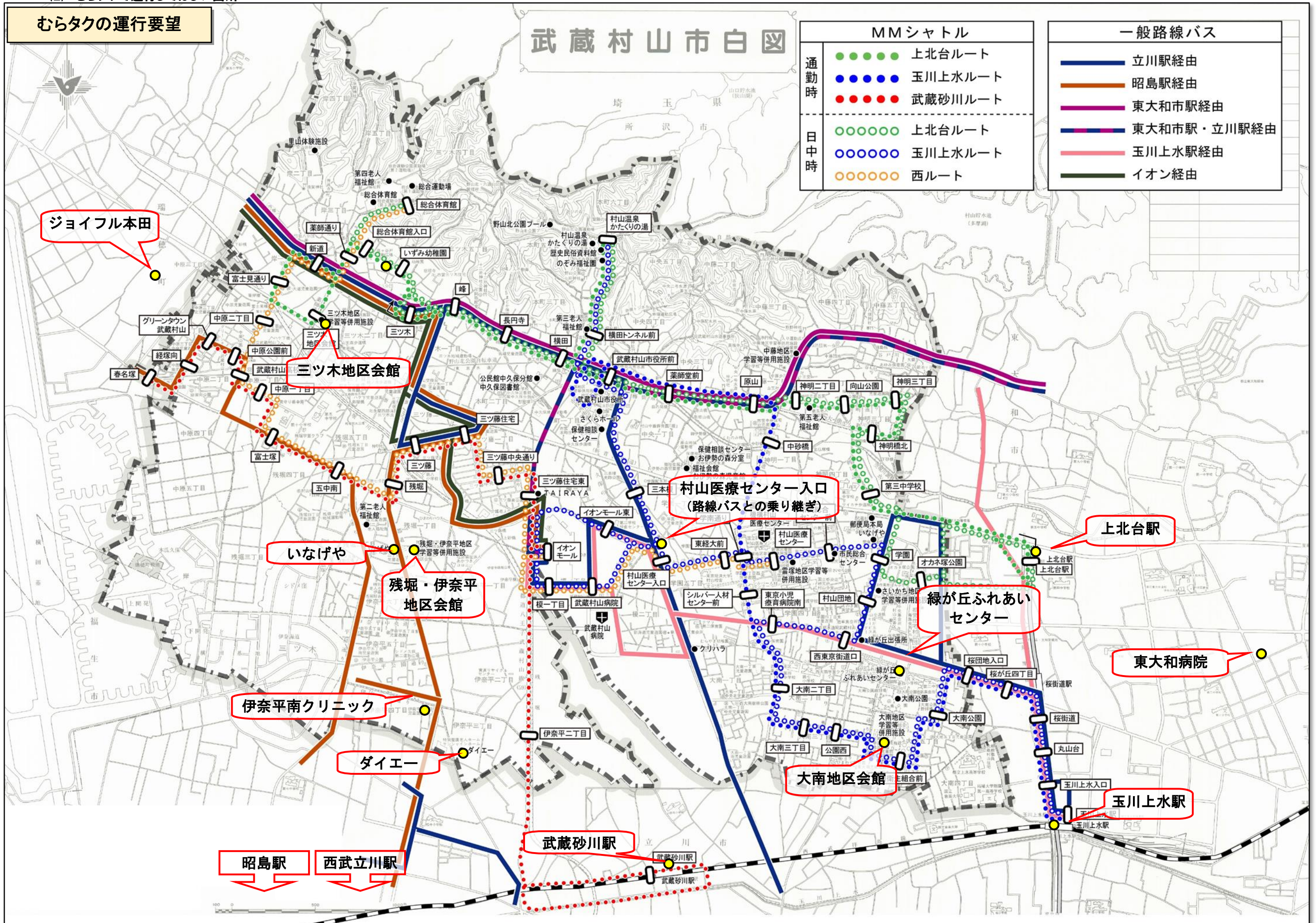
次ページ以降に意見交換会で伺った意見を整理する。

現在の移動の状況とむらタクに運行してほしい箇所については、地図上で整理する。

(1) 現在の移動の状況



(2) むらたくで運行してほしい箇所



(3) その他意見

1) むらタクに対する要望

現状の利用、運行要望以外に、むらタクに対して以下のような意見をいただいた。

区分	意見
区域追加	・対象エリア外でも利用したい人が多く、対象エリアを広げてほしい。（具体的に挙げた箇所：残堀五丁目、村山団地）
運賃	・300円で安い。 ・料金を100円くらいにしてほしい。
運行頻度・時間	<ul style="list-style-type: none"> ・8時台はあまり利用しない。代わりに18時くらいまで終発を遅くしてほしい。 ・東大和病院まで行くと17時を過ぎてしまう。1時間延ばしてほしい。 ・年に1回のイベントの時だけでも日曜日に市民会館まで行ってほしい。 ・混んでいて希望通りの予約が取れないことがあるため、混雑する曜日が把握できていればその曜日のみでも、運行本数を増便できないか。 ・今後、需要は増えると思うが、利用が増えた場合、増便できるのか。 ・受付時間を8時前にできればもっと早い時間に乗れる。 ・事前予約が30分前までであり、予約してから一時間以上待つ。
運行要望以外の要望	<ul style="list-style-type: none"> ・事前予約が難しい。予約無しで乗車できないか。 ・事前に予約するのは不便。路線バスのように自動的に来てくれる仕組みのほうが簡単。 ・予約優先でいいが、事前に予約をしていなくても、空いていたら乗車できるようにしてほしい。 ・武蔵村山病院の乗り場を病院の入口近くにしてほしい。 ・施設から施設へ運行をしてほしい。 ・車両に段差があり、乗り降りが不便。 ・むらタクとバスとの乗継ぎが難しい。 ・予約時刻に自宅に行っても出てこない利用者があるので困る。マナーを守ってもらいたい。市からも利用方法、注意事項の周知をしてもらいたい。
周知	<ul style="list-style-type: none"> ・市報に掲載する等もっとPRすべき。 ・老人会などで宣伝してはどうか。 ・地区会館でのイベント等でPRし、利用者を増やしたほうがいいのではないか。 ・第二老人福祉館には10人前後集まっているので、口コミでむらタクの利用促進をしたらいいのではないか。
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・登録しやすいよう、ボランティア等で申請サポートをしてはどうか。 ・廃止されては困るため、継続して運行してほしい。 ・高齢者の利用が多く、曜日によって利用率（乗合率）に差がある。 ・以前に比べると相乗りが増えてきている。 ・運転手が親切で便利である。（家まで荷物を運んでくれる） ・予約時の女性の対応は分かりにくいことがある。 ・起終点が自宅というのはありがたく、良いと思うが、問題点もあり、全体的な使い勝手としてはもうひとつ改善が必要である。

2) その他公共交通に対する要望

むらタク以外の路線バス、MM シャトル等に関しても以下のような意見をいただいた。

区分	意見
路線バス	<ul style="list-style-type: none"> ・ 昭島や箱根ヶ崎に行く路線バスが減った。 ・ 立川駅に行きにくい。 ・ 西武立川駅へ行ってほしい。 ・ 西武立川駅はバス停が遠い。 ・ 西武立川駅での鉄道との乗り継ぎ時間が長い。 ・ 伊奈平南クリニックからイオンモールに行く高齢者が多いが、路線バスが1時間に1本程度しかないため、タクシーを利用する方が多い。 ・ 8:30~11:00頃のイオンモール行きのバスが少なくて不便。
MM シャトル	<ul style="list-style-type: none"> ・ 再編前のMM シャトルの西循環ルートは、三ツ藤から残堀・伊奈平地区まで1時間かかるため利用できなかった。 ・ MM シャトルの武蔵砂川ルートには、行きたい場所がない。
タクシー	<ul style="list-style-type: none"> ・ タクシーを呼ぶ場合、車両が少ないためか、すぐに配車してもらえず時間がかかることが多い。そのため、むらタクの運行エリア等を拡大しても一般タクシーと競合しないのではないか。
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・ いなげやの前の歩道は狭く自転車では危ない。 ・ 自転車の利用に自信がなくなっている。

3 現在の乗合タクシーの状況のまとめ

- 高齢者の利用が多いなど利用者に偏りはみられるが、利用者数、登録者数ともに徐々に増加しており地域の足として定着しつつある。
- 利用者数の増加に伴い、収支率の改善もみられる。
- 利用者のなかには、1週間に何度も利用する方もいるほか、乗合タクシーからバスに乗り継ぎを行うなど、工夫して利用している方もおり、外出機会の向上につながっている。
- 多くの利用者が今後も継続して運行してほしいと望んでおり、地域にとって必要な交通手段となっている。
- 一方で、登録可能な地域や運行箇所の追加、運行時間の拡大などの要望が挙がっているほか、登録可能な地域の居住者でも乗合タクシーの存在を知らない方がいるなど、問題箇所の改善や周知の徹底が望まれている。